

りの時に誰々はおはなし、誰は唱歌を豫め約束しておいた。その日お話しいふ約束の子が、みんなにときかかせてくれた話。話そのものも面白いけれどよくもこの筋を覚えてられたものさ感心したが、筋が簡單で事柄をくり返してあるからまことに覚えいゝ處もある。

浦島太郎 (幼兒演出)

もうこの頃になるさ、よく見せて貰ふ人形芝居のたいはいはすつかり覚えてしまつてゐる、よほぎ新しいものであればちつと見物してゐるが、さう／＼新しい人形

観 察

第五週

まめまき(年少組参照)

第六週

梅の花(年少組参照)

南 天

雪うさぎ等をつくる時この赤い實をつかふ。きれいな赤

芝居を見せるのは實際行ひにくい。そこで舌切雀、浦島太郎などはすつかり筋を覚えてしまつて、見てゐるのよりも自分にやつて見たいのであらう。職員室にいつの間にか子供がはいつて来て、戸棚からさり出して人形をおざらせてゐる。そこで臺詞さぼりで無くとも、舞臺を室に運んでやつて、人形を與へて、始めは先生が舞臺裏にしがんで指導しながら演出させる。これをくり返す中に自分達だけでも出来るようになるようにする。

い可愛い、實を斯うした遊びに使ふことはうれしいことだ。

第七週

第八週

年少組参照

第九週

物さし、秤

いよ／＼小學校へゆく日が近づいた。大きくなつたさ

ふ喜を具體的にみるこいふこ大げさで理窟つぼくなるが一日ゆつくりこ背丈こ重さを予さも達こいしよにはかつてみる。長さや重さを或單位で測るこいふこはまだむづかしい概念である。が目盛によつて大小輕重のあるこは數字で示してあるここでわかるのでそのよみ方を話し、各自

手 技

第五週

自由畫

アルバム表紙(繪具にて)

アルバムの表紙をかゝせる。材料は紙でも布でもよい。

紙の時には繪具でかゝせるこひきたつてよい。布の時にはクレヨンで畫いて、あこでアイロンをかけておく。

アルバムの表紙は出来るだけ個人ノノによく指導してかかせたいものであるから數人づゝにしてその他の幼兒は自由畫帖にかゝせたり自由遊びをさせたりする。

製作(動物園つゞき)

のを測つたらよく判るやうに黑板へなり紙へなりみんなのをかいてみる。そうして大小を比較し、又出来れば小さい組に入つた時こ比べてぎれだけのびたか、ぎれだけ重くなつたかを知らせる。背ならば實際にこれだけこ長さで示して見せる。この觀察は實際に興味深いものである。

鹿、キリン、キリンの柵

鹿、キリンはこれまでの動物通りに箱の蓋なごに顔だけかゝせて、胴の木の空箱でつくる。

柵なごは空箱の部分をこつてつくる事にする。

第六週

粘土 一回

動物の自由製作

ぬりゑ 一回

アネサマ

アネサマをつくられば、つくつて千代紙なごの着物を